

第2期大津市がん対策推進基本計画の パブリックコメント（案）について

令和6年12月12日（木）
健康保険部保健所健康推進課

目次

第1章	計画の策定にあたって	-----	p.3
第2章	大津市のがんを取り巻く状況	-----	p.6
第3章	「市民・事業所意識調査」結果	-----	p.7
第4章	第1期計画の基本目標別指標達成状況と評価	-----	p.9
第5章	第2期計画の基本的な考え方	-----	p.10
第6章	施策の展開	-----	p.17
第7章	計画の進捗管理	-----	p.24
資料編		-----	p.25

第1章 計画の策定にあたって

1-1 計画策定の背景と趣旨

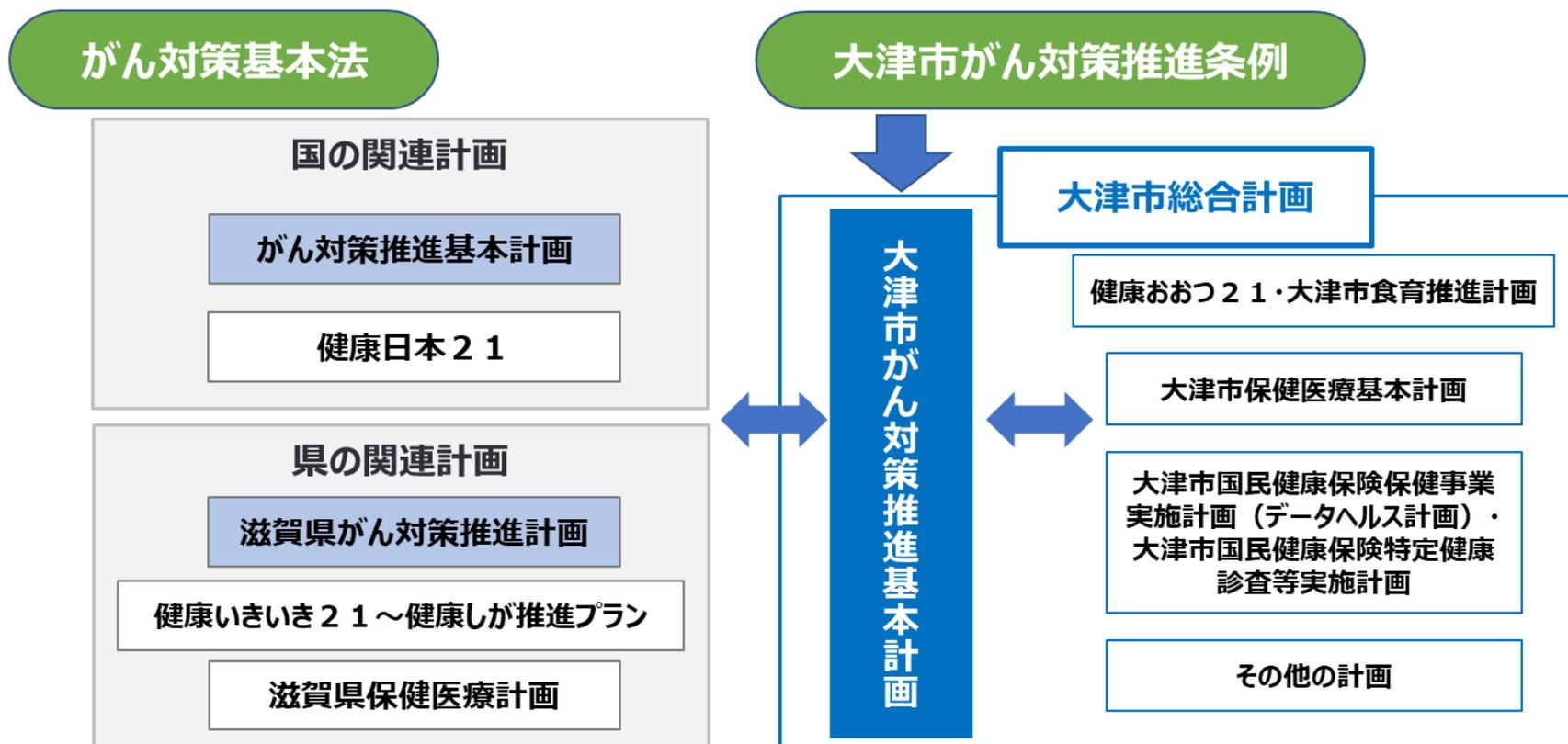
計画案2ページ

- 現在、がんは死亡要因の第1位であり、市民の生命及び健康にとって重要な課題となっている。
- 本市では、平成28年4月に「大津市がん対策推進条例」を施行し、平成29年6月には「大津市がん対策推進基本計画」を策定し、「がん予防の推進」、「がんの早期発見の推進」、「がん医療の充実と療養生活の質的向上」、「がん患者とその家族への支援の充実」、「働く世代へのがん対策の充実」を柱とした取組を推進してきた。
- 今回策定する「第2期大津市がん対策推進基本計画」は、これまでの本市のがん対策の取組に関する効果検証・評価、さらに、市民・事業所意識調査の集計結果や、がん対策にかかる関係団体へのヒアリングの結果等を踏まえ、これからの本市のがん対策について個別具体的な施策・取組を示す。

第1章 計画の策定にあたって

1-2 計画の位置付け

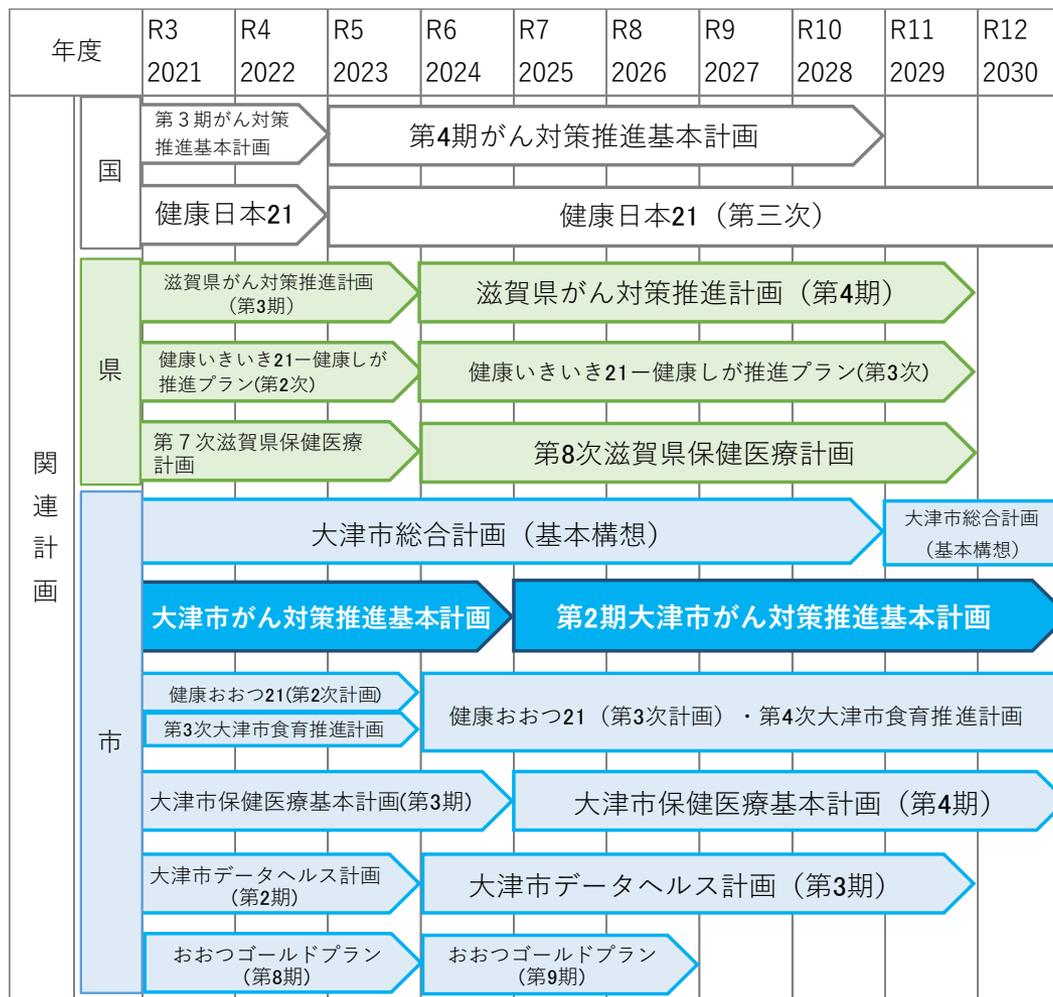
計画案3ページ



第1章 計画の策定にあたって

1-3 計画の期間

計画案4ページ



第2章 大津市のがんを取り巻く状況

計画案記載ページ

2-1	大津市の人口動態	6ページ
2-2	がんによる死亡の状況	7ページ
2-3	がんの罹患状況	13ページ
2-4	生活習慣等のがん予防に関する状況	18ページ
2-5	大津市のがん検診の状況	29ページ
2-6	がんに関する医療の状況	32ページ
2-7	がんに関する相談支援の状況	38ページ

第3章 「市民・事業所意識調査」結果

3-1 市民意識調査の結果

計画案41ページ
～53ページ

- 調査地域 : 大津市全域
- 調査対象 : 市内在住20歳以上75歳未満の住民から3,000名を無作為抽出
- 調査期間 : 令和5年11月～12月(郵送配布・回収)

配布数	有効回収数	有効回収率
3,000	1,005	33.5%

<調査項目>

- ・ がんに対する印象と認識について
- ・ 各がん検診受診状況
- ・ がんに関する情報や相談について
- ・ がんになった場合の就労継続
- ・ がん治療の環境と療養生活の場所
- ・ 力を入れてほしいがん対策

第3章 「市民・事業所意識調査」結果

3-2 事業所意識調査の結果

計画案54ページ
～59ページ

- 調査地域 : 大津市全域
- 調査対象 : 大津市内に所在する事業所1,600件
- 調査期間 : 令和5年11月～12月(郵送配布・回収)

配布数	有効回収数	有効回収率
1,600	512	32.0%

<調査項目>

- ・ がん予防やがん検診受診促進のための事業所における取組
- ・ 各種がん検診の実施状況
- ・ がんに罹患した従業員の状況
- ・ 仕事と治療の両立について

第4章 第1期計画の基本目標別指標達成状況と評価

計画案73、74ページ

記号	指標の目標値に対する評価	配点
A	目標を達成した	4
B	改善傾向にある	3
C	変わらない	2
D	やや悪化している	1
E	悪化している※	0

	A	B	C	D	E	計
評価項目数	12	31	2	8	3	56
全項目数に占める割合	21.4%	55.4%	3.6%	14.3%	5.4%	100.0%

5. 働く世代へのがん対策の充実

(1)市内事業所及び保険者等との連携によるがん対策の充実

(2)がん患者とその家族の生活支援

4. がん患者とその家族への支援の充実

(1)情報提供と相談支援の充実

(3)緩和ケアの充実

3. がん医療の充実と療養生活の質的向上

(2)在宅医療の推進

(1)がん医療の充実と医療従事者等の育成支援

(1)がんに関する知識の普及

(2)生活習慣の改善によるがん予防の取り組みの推進

1. がん予防の推進

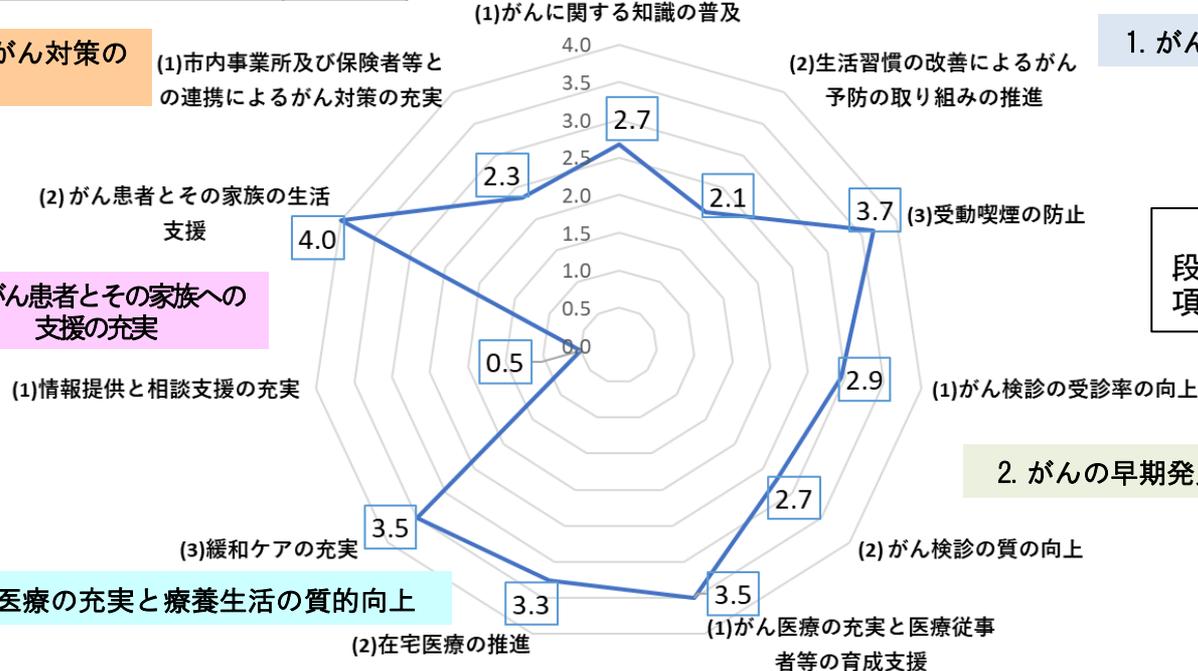
(3)受動喫煙の防止

(1)がん検診の受診率の向上

2. がんの早期発見の推進

(2)がん検診の質の向上

段階別評価の合計点数を項目数で割った平均点



5-1 計画の基本理念

**誰もが自分を大切にし がんになっても
安心して暮らせるまち おおつ**

～がんをよく知り、がんを予防し、
がんになっても安心して働き暮らせる地域社会の実現を目指して～

5-3 計画の基本目標

基本目標1 がんの予防

市民一人ひとりが、正しくがんを知ることで、がんを予防するとともに、検診による早期発見・早期治療を目指します

1-1 がんの予防の推進

1-2 がんの早期発見の推進

1-3 がん教育、啓発の充実

基本目標2 がんとの共生

がんになっても、患者やその家族が安心して暮らしていけるまちを目指します

2-1 在宅医療の充実と
療養生活の質的向上

2-2 がん患者等の支援の充実

第5章 第2期計画の基本的な考え方

5-4 計画の体系①

計画案80ページ

【基本目標】

基本目標 1 がんの予防

市民一人ひとりが、正しくがんを知ること、がんを予防するとともに、検診による早期発見・早期治療を目指します

【分野別目標】

1-1 がんの予防の推進

1-2 がんの早期発見の推進

1-3 がん教育、啓発の充実

【分野別施策】

①がん予防に関する科学的知識の普及

②生活習慣の改善によるがん予防の取組の推進

③受動喫煙の防止

①がん検診の受診促進

②がん検診の質の向上

①学校におけるがん教育の充実

②市民に対する研修機会等の充実

③事業所との連携による知識の普及

第5章 第2期計画の基本的な考え方

5-4 計画の体系②

計画案80ページ

【基本目標】

基本目標 2 がんと共生

がんになっても、患者やその家族が安心して暮らしていけるまちを目指します

【分野別目標】

2-1 在宅医療の充実と療養生活の質的向上

2-2 がん患者等の支援の充実

【分野別施策】

①在宅医療の推進

②緩和ケアの理解促進と充実

①がん治療に関する相談体制整備と情報提供の充実

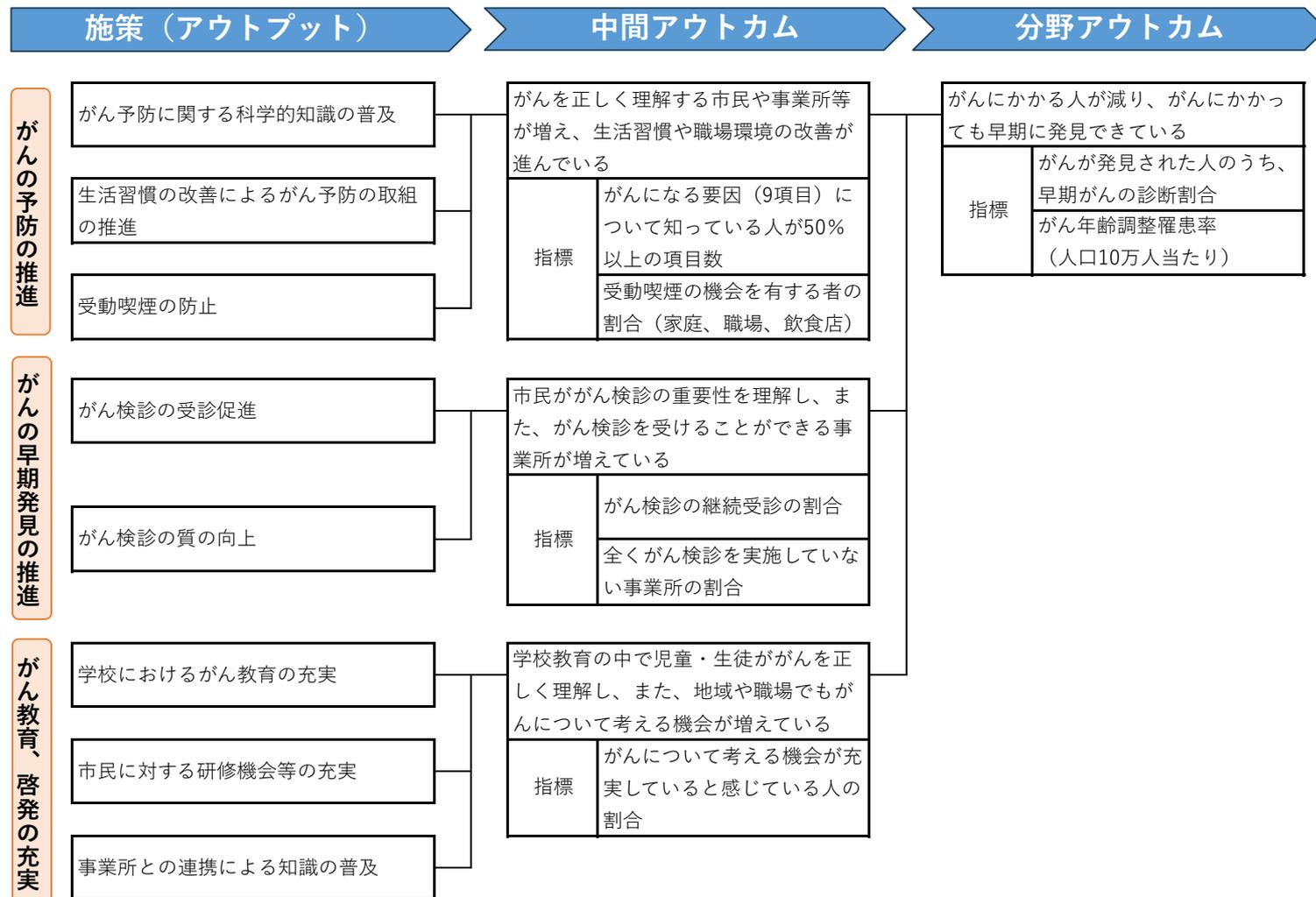
②市内事業所等と連携した両立支援の相談対応

③アピアランスケアの情報提供と利用支援

第5章 第2期計画の基本的な考え方

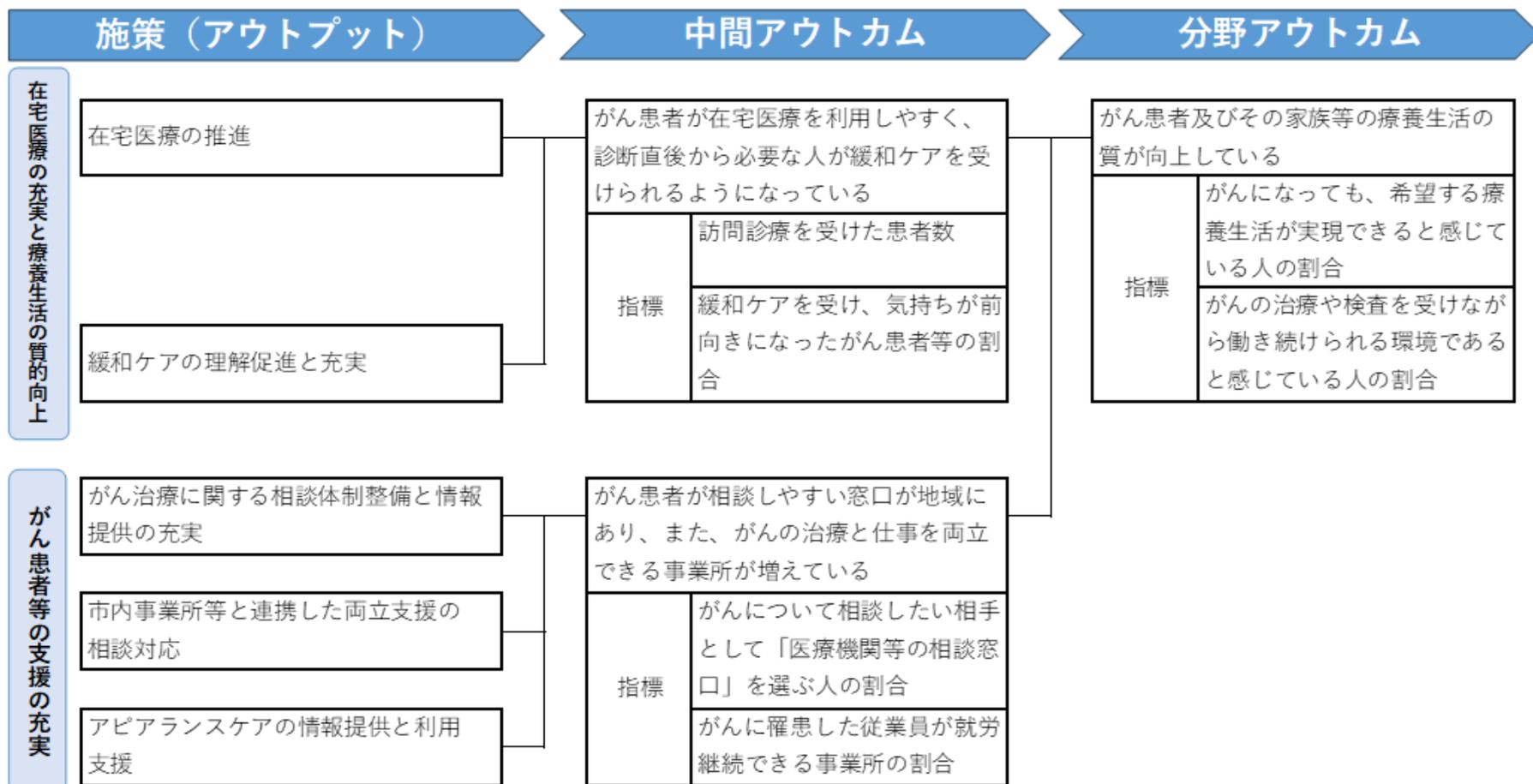
基本目標1「がんの予防」における施策と目指す姿

計画案81ページ



第5章 第2期計画の基本的な考え方

基本目標2「がんとの共生」における施策と目指す姿 計画案81ページ



5-5 計画の推進体制(各主体の期待される役割)

本計画は、市をはじめ、市民、保健医療関係者、企業などの事業者、教育関係者、患者団体をはじめとする各種団体などがそれぞれ役割を担いながら、協働のもと取り組んでいく必要があります。それぞれの期待される役割を明確にし、計画を推進していきます。

基本目標1 がんの予防

市民一人ひとりが、正しくがんを知ること、がんを予防するとともに、
検診による早期発見・早期治療を目指します

分野アウトカム(目指すべき姿)

がんにかかる人が減り、がんにかかっても早期に発見できている

評価指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)	出典
がんが発見された人のうち 早期がんの診断割合	胃がん: 60.4% 大腸がん: 61.1% 肺がん: 37.4% 乳がん(女性): 66.3% 子宮頸がん: 81.7% (H28~R2)	増加	全国がん登録
がん年齢調整罹患率 (人口10万人当たり)	男性: 919.8 女性: 592.9 (R2)	減少	全国がん登録

施策1-1 がんの予防の推進

計画案86ページ

中間アウトカム(目指すべき姿)

がんを正しく理解する市民や事業所等が増え、
生活習慣や職場環境の改善が進んでいる

評価指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)	出典
がんになる要因(9項目)について知っている人が50%以上の項目数	2項目 (R5)	9項目 (R11)	市民意識調査
受動喫煙の機会を有する者の割合 (家庭、職場、飲食店)	家庭:2.8% 職場:10.5% 飲食店:8.6% (R4)	家庭:1.4% 職場:5.2% 飲食店:7.0% (R10)	「滋賀の健康・栄養マップ」調査

<個別施策>

①がん予防に関する科学的知識の普及

②生活習慣の改善によるがん予防の取組の推進

③受動喫煙の防止

第6章 施策の展開

基本目標1 がんの予防

施策1-2 がんの早期発見の推進

計画案94ページ

中間アウトカム(目指すべき姿)

市民ががん検診の重要性を理解し、また、
がん検診を受けることができる事業所が増えている

評価指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)	出典
がん検診の継続受診の割合	胃がん検診:34.7% 肺がん検診:47.2% 大腸がん検診:39.8% 子宮頸がん検診:37.7% 乳がん検診:37.9% (R5)	各がん検診 50% (R11)	市民意識調査
全くがん検診を実施していない 事業所の割合	30.9% (R5)	0% (R11)	事業所意識調査

<個別施策>

①がん検診の受診促進

②がん検診の質の向上

施策1-3 がん教育、啓発の充実

計画案100ページ

中間アウトカム(目指すべき姿)

学校教育の中で児童・生徒ががんを正しく理解し、また、
地域や職場でもがんについて考える機会が増えている

評価指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)	出典
がんについて考える機会が充実 していると感じている人の割合	67.1% (R6)	80% (R11)	健康増進関連イベントにおける アンケート調査

<個別施策>

①学校教育におけるがん教育の充実

②市民に対する研修機会等の充実

③事業所との連携による知識の普及

基本目標2 がんとの共生

がんになっても、患者やその家族が安心して暮らしていけるまちを目指します

分野アウトカム(目指すべき姿)

がん患者及びその家族等の療養生活の質が向上している

評価指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)	出典
がんになっても、希望する療養生活が実現できると感じている人の割合	13.3% (R5)	増加 (R11)	市民意識調査
がんの治療や検査を受けながら働き続けられる環境であると感じている人の割合	75.6% (R5)	増加 (R11)	市民意識調査

施策2-1 在宅医療の充実と療養生活の質的向上

計画案108ページ

中間アウトカム(目指すべき姿)

がん患者が在宅医療を利用しやすく、
診断直後から必要な人が緩和ケアを受けられるようになっている

評価指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)	出典
訪問診療を受けた患者数	4,215人 (R5)	増加 (R11)	滋賀県国民健康保険団体連合会
緩和ケアを受け、気持ちが前向きになったがん患者等の割合	63.1% (R5)	80% (R11)	滋賀県がん患者団体連絡協議会

<個別施策>

①在宅医療の推進

②緩和ケアの理解促進と充実

施策2-2 がん患者等の支援の充実

計画案113ページ

中間アウトカム(目指すべき姿)

がん患者が相談しやすい窓口が地域にあり、
また、がんの治療と仕事を両立できる事業所が増えている。

評価指標	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)	出典
がんについて相談したい相手として「医療機関等の相談窓口」を選ぶ人の割合	31.5% (R5)	50% (R11)	事業所意識調査
がんに関与した従業員が就労継続できる事業所の割合	76.9% (R5)	85% (R11)	事業所意識調査

<個別施策>

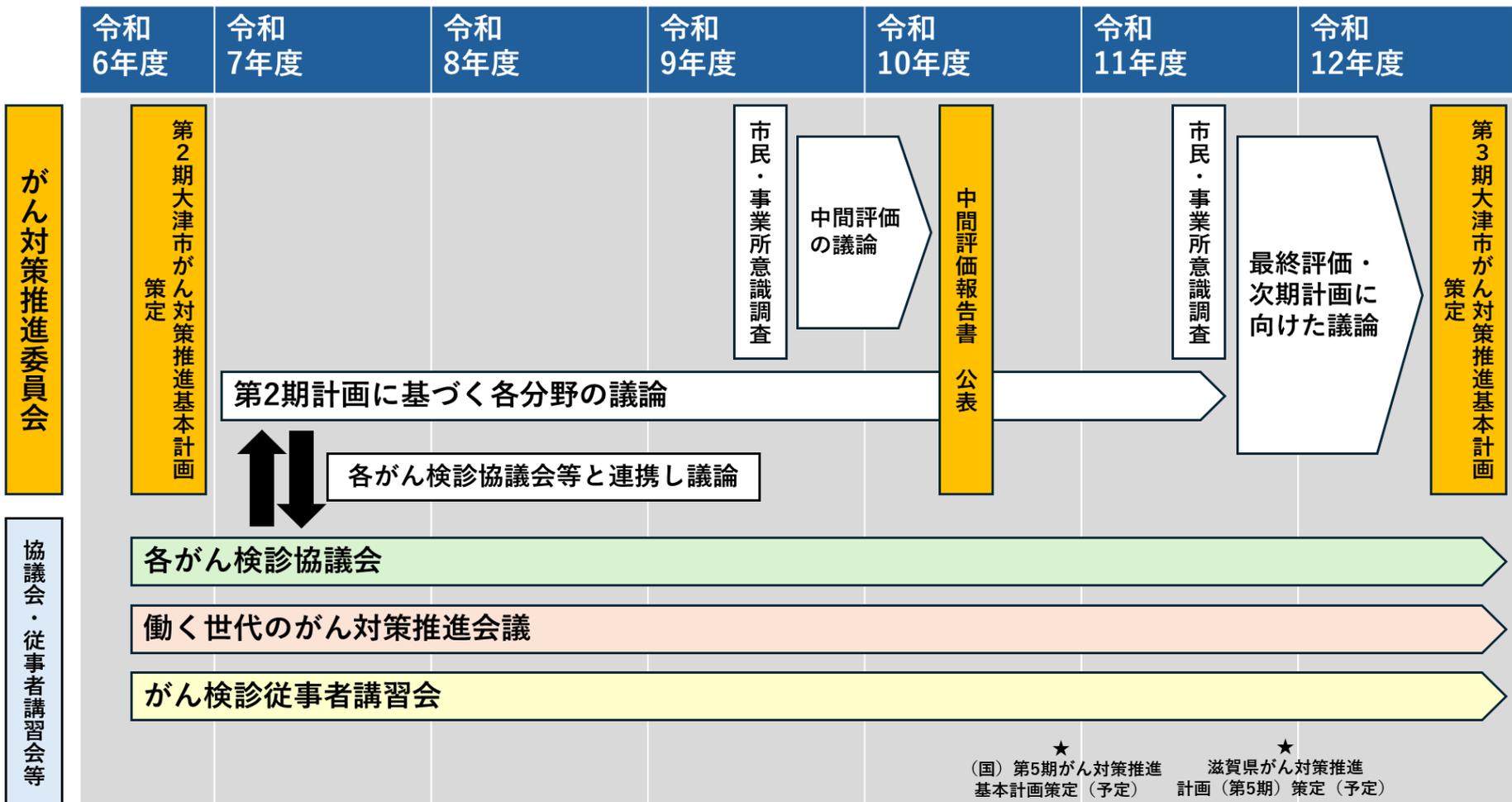
①がん治療に関する相談体制整備と情報提供の充実

②市内事業所等と連携した両立支援の相談対応

③アピアランスケアの情報提供と利用支援

第7章 計画の進行管理

計画案120ページ



計画案121ページ～

- 1 用語解説
- 2 目標及び指標一覧
- 3 大津市がん対策推進条例
- 4 大津市がん対策推進委員会規則
- 5 大津市がん対策推進委員会委員名簿

計画策定のスケジュール

- 令和6年 12月 教育厚生常任委員会(パブリックコメント案報告)
パブリックコメントの実施
- 令和7年 2月 がん対策推進委員会(第3回) (計画最終案)
- 3月 教育厚生常任委員会 (計画最終案報告)
計画策定

パブリックコメントの実施について

(1)意見募集期間

令和6年12月24日(火) から 令和7年1月14日(火)まで

(2)意見募集方法

市のホームページに掲載、市政情報課及び健康推進課で閲覧

(3)意見の提出方法

健康推進課へ直接又は郵便、ファックスもしくはメールで提出

(4)その他

ア:御提出いただいた意見等及びそれに対する市の考え方をそれぞれ整理し、内容を公表。

イ:大津市がん対策推進委員会で意見を聴取した上で、計画最終案としてとりまとめる。